



6月26日(木)男女共同参画週間(6/23-29)中に、講師・宝井琴桜(きんおう)師匠を講師に、大分市公民館で男女共生講演会が開かれました。宝井師匠は、女性初の真打となり、各地で男女共同参画をテーマに講演活動をされています。ご自身の体験談を交えながら、講談調の面白いお話で、終始熱気と笑いに包まれました。それでは講演内容の一部(要約)をご紹介します。

●世の中変わってきているのです

講談とは、500年もの伝統ある日本の大衆演芸の一つで、講釈台を張り届で叩きながら一つのテーマを噛み砕き、物語にして皆様方に楽しんでいただくものです。35年前、女性講師は私1人でした。話芸の縦社会においても、35年経てば変わるものです。今ではプロの講師の半数が女性です。私は、結婚しても、子どもが生まれても仕事を辞めませんでした。35年間続けたことで、「女性でもできますよ」ということが証明されました。真打に昇進させていた。だったので、女性でも時間をかけて修行すれば、男性と同じように認められ、昇進昇格できる道が出来ました。後に続く人たちのためにも良かったと思います。世の中そんな風に変わってきています。

●女も男も同じ土俵に上がって取り組もう

4年前に男女共同参画社会基本法ができました。法律ですから漏れないように、あれも、これも入れてと難しくなり、一言では言えませんが、相撲の土俵を思い浮かべれば分かりやすいと思います。世の中にはいろいろな土俵があります。政治の土俵、責任ある仕事の土俵、子育ての土俵、介護の土俵、家事労働の土俵などがあります。その土俵に上がることができるのは、性別で決まっています。政治・責任ある仕事の土俵は男の土俵、「男たちがそこで一生懸命取り組むものだ」、女は無理に男の土俵に上ら

なくても女の土俵で取り組めばいいじゃないかと、その女の土俵と決め付けられていたのが子育て・介護・家事労働の土俵と、上がる土俵が性別ではっきり分けられていました。男女共同参画は性別で分けず、いっしょに土俵に上がってがっぶり四つで取り組みましょう。つまり、お互いに責任を分かち合えば片方だけが重い責任を負わなくてもいいわけで、やりがい・取り組みがいでできます。そして喜びも分かち合えます。決して性を否定するものではなく、いっしょに取り組んでいい関係、すてきな関係をつくりましょう。これが男女共同参画社会です。

そして男女共同参画社会の実現は、男性だけではなく、女性も変わらなければなりません。講演を結びました。

(女性政策推進室)

会場の声

- 男性より女性のほうの意識改革が必要だと思ふ (40代女性)
- どんな時代になろうとも、女らしさ、男らしさ、男女の役割をすべて無くすのは行き過ぎたと思ふ (50代男性)
- 非常に分かり易い内容であった。自ら反省する事が多々あり、定年後の人生設計の参考にしたい (50代男性)

女性政策推進室の主な事業

- 意識啓発 男女共生講演会や講座を開催、情報誌「ドゥマーン」(市内全戸回覧)・中学生用ガイドブックなどを作成・配布しています。
- 情報提供 ジェンダーやドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどの関連図書・ビデオの無料貸出しをしています。

「暮らしの中の法律学」

身近な法律問題を分かりやすく解説します

「暮らしの中の法律学」…5回
(要申込：コンバルホール)

日時 10月～2月の第3金曜日
19:00～21:00

場所 コンバルホール

(大分大学地域連携推進事業・大分市男女共同参画推進事業・大分中央公民館事業)

「労働相談」が始まりました

労働問題(労働災害・賃金・年金・就業条件等)でお悩みの勤労者・雇用主の方のために

日時 毎週金曜日(祝祭日と年末年始は除く)
10:00～16:00(12:00～13:00は除く)

場所 市役所本庁舎2階 市民相談コーナー

【お問合わせ】

商工労政課 ☎534-6111 内線1616)

お知らせ